

問 財政確保のため、公共施設等へのネーミングライツ（命名権）導入は検討しているか。

（奥山）

答 検討しているが、多くの企業に関心を持ってもらうためには適切なタイミングが必要。世界遺産登録後など、時期を見極めながら進めたい。

（村長）

問 県道にある小さな陥没の補修や、せり出した木の枝切りなど、軽微な維持管理を村の職員で迅速に対応できないか。

（奥山）

答 道路法等の管理権限上、村が直接手を入れるのは難しい。皆さまからの要望を村が取りまとめ、所管の県中和土木事務所へより強く改善を要請していく。

（村長）

問 世界遺産登録で村が栄えれば、今まで農業を守ってきた村民の固定資産税まで上がるのではないか。

（奥山）

答 現時点では村内の地価は全体として下落傾向にあり、固定資産税が上昇する状況にはない。今後の動向については変化があれば適宜対応していく。

（村長）

問 小学生までを対象にした子育て支援のさらなる強化はできないか。

（奥山）

答 子育て支援は重要課題であり、村の実情を踏まえながら効果的な施策を検討する。

（村長）

問 甘樫丘東側から雷に向かう三差路にある、直進を示す信号標識（矢印）が剥がれており危険だ。

（飛鳥）

答 現地を確認し、至急警察等の所管機関へ対応を要請する。

（村長）

問 万葉文化館西側の竹林整備について、再び荒れないよう今後の維持管理はどうするのか。

（飛鳥）

答 世界遺産登録を見据えた環境整備であり、展望広場としての活用も模索している。景観維持に向け、地権者や支援企業等と連携して管理

方法を検討する。

（村長）

問 大官大寺跡周辺で深刻な鳥獣害被害が発生しているが、景観規制等で対策や補助が受けづらい。支援を検討してほしい。

（小山）

答 関係各所と調整を図りながら可能な限りの対応策を検討・努力していく。

（村長）

問 グリーンスローモビリティの運行ルートにおいて、農耕用道路でのすれ違い等に伴う道幅や駐車スペースの確保、また大官大寺跡周辺の遊歩道にある危険な角柱の安全対策を急いでほしい。

（小山）

答 安全対策や道路環境の整備について、過去にいただいた要望を含め再度確認し、適切に対応できるよう努める。

（村長）

問 世界遺産登録を見据え、サイクリングロード沿いの草刈りや樹木管理（クビアカツヤカミキリ被害による枯れ桜等）といった景観維持に対する村の支援・方針はどうなっているか。

（雷）

答 クビアカツヤカミキリ被害は全国的な課題であり、現在国へ支援拡大を要望中。公有地の対策から始めつつ、民有地についても状況把握に努めている。いただいた意見等をもとに、県や関係機関と連携し対策を進める。

（村長）

問 観光客増加に伴い、交差点へのごみ不法投棄など衛生面での課題が増えている。世界遺産登録後のごみ処理方針をどう考えているか。

（雷）

答 現在、観光協会ＨＰ等で来訪者向けルールの周知を始めている。今後の状況に応じ、ごみ箱設置や過料等のより強い対策も議会等と協議していく。具体的にごみ処理は関係機関と連携して対応する。

（村長）

7/18 車座集会（明日香座）開催

▶対象大字

飛鳥・豊浦・雷・小山・奥山・八釣・東山・小原



問 資料の人口ピラミッドが2020年のデータを使用されているが、2025年度のデータを使用してほしい。（飛鳥）

答 統計は国勢調査を基準とするルールがあり、現状は2020年データを使用している。2025年調査結果の公表を待って速やかに資料を更新する。（村長）

問 御井敬三氏が名誉村民に選定されていないのはなぜか。（飛鳥）

答 御井氏没後に施行された名誉村民条例では存命者を対象としている。一方で飛鳥保存について御井氏の功績は大変重要であり、明日香法の制定など村の歴史を語るうえで欠かせない人物として、今後も様々な場面で功績を伝えていく。（村長）

問 平成の大合併の際、村は合併しない選択をした。当時の判断をどう受け止めているか。（飛鳥）

答 当時は村外からも6万通の合併に対する反対署名が寄せられた。村が独自性を守ったこの判断は正しかったと考えている。現在の世界遺産登録への歩みにもつながっている。（村長）

問 飛鳥地区は市街化区域がないが、今後の宅地整備や土地利用を進める考えはあるか。（飛鳥）

答 景観保全や農業振興を基本としつつも、地区維持のため定住人口は必要だ。都市計画法等を踏まえ、個別の宅地整備や土地利用の可能性を協議していく。（村長）

問 渋滞対策として、万葉文化館駐車場周辺を大型観光バスが通り抜けられるようにしてはどうか。（飛鳥）

答 現地の構造上、大型バスの通行は難しい状況である。村内の交通対策については、駐車場の活用や公共交通への利用転換を含め村全体で再構築を図る。（村長）

問 明日香応援券はなぜ個人ではなく世帯単位の配布なのか。（飛鳥）

答 村内事業者での消費喚起と、子育て等で過重負担となる世帯への支援を考慮し世帯単位としている。今後の経済対策では個人配布も含め検討する。（副村長）

問 飛鳥地区にある3か所の交互信号は見直せないのか。（飛鳥）

答 信号機は県公安委員会の所管であるため村で直接変更はできないが、皆さまからの意見を伝え、時間等の見直しについて所管機関へ要望していく。（副村長）

問 夢の楽市駐車場について観光客の増加が見込まれる中、無料開放のままで混乱しないのか。有料化するならば利用者や納品者への対処をどう考えているか。（飛鳥）

答 夢の楽市をはじめ、村内の他の駐車場についても同様に全体で有料化を進めていく予定。その際、村民利用の無料化や楽市利用者の一定時間無料化など、対策を検討している。（副村長）